

黎明館企画展

鮫島白鶴の人と書と



鮫島白鶴筆「龍虎」掛幅 白鶴八十二歳

令和7年12／11（木）～令和8年3／1（日）

《休館日》毎週月曜日（祝日の場合は開館）、12/25・31、1/1・2・13、2/24・25

【会場】黎明館3階 企画展示室、日本画・書展示室

【時間】9時～18時（入場は17時30分まで）

【料金】常設展示と共通 ※（ ）内は20人以上の団体料金

一般 430 円（320 円）

高校・大学生 270 円（160 円）

小・中学生 160 円（90 円）

鹿児島県歴史・美術センター黎明館

Kagoshima Prefectural Museum of Culture Reimeikan

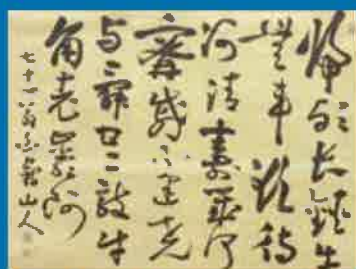
さだしまはっかく

鯨島白鶴 (1773～1859) は、鹿児島城下に生まれ、幼い頃から学問を好み、詩をつくり、書や絵にも才能を発揮しました。江戸や琉球、京都などさまざまな地に赴くたびに、その書は高く評価され、生前から偽物が出回るほど人気のある書家でした。特に京都では、近衛家からも絶賛され、八十歳のお祝いの席では寿ぎの歌を贈られたといひます。また、藩主島津斉彬に『論語』を教えたほどの学識もありました。

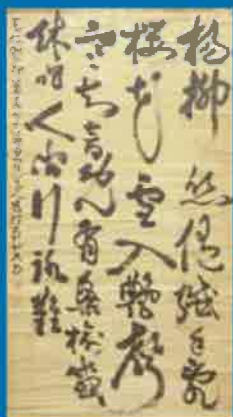
お酒を愛し、豪快で自由な性格だったと伝えられています。その人柄は書にも表れ、のびのびとした筆づかいや、大きな筆で大胆に描かれた墨の表情は、まるで絵のような迫力があります。

白鶴の生誕から約250年、没後150年以上が過ぎた今も、その書は力強く、みずみずしい息づかいを感じさせます。本展では、白鶴の掛幅や屏風等約40点（一部展示替えあり）を展示します。白鶴という人物を思い浮かべながら、その書の魅力をぜひ味わってみてください。

第1章 鍛錬期（～74歳）



『六行書』掛幅 白鶴七十一歳



『三行書』掛幅 白鶴七十歳

第3章 円熟期（78歳～）

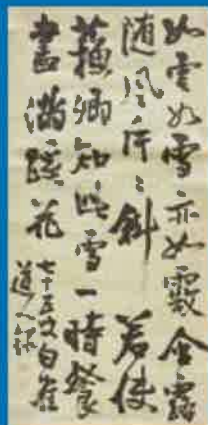


『送龍寄龍過水本』屏風（右隻） 白鶴八十五歳

第2章 京都での転換期（75～77歳）



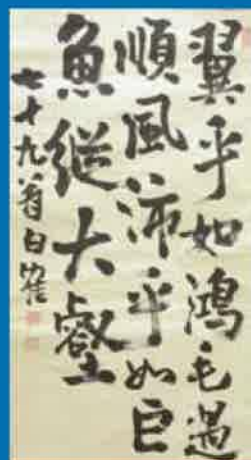
『一魚』掛幅 白鶴七十七歳



『七言絶句』掛幅 白鶴七十五歳



『白鶴太宰』一龍図 鯨島白鶴撰 掛幅 白鶴七十七歳



『三行書』掛幅 白鶴七十九歳

Events 関連イベント 学芸講座の申込詳細は、ホームページまたはチラシをご覧ください。

□学芸講座（展示解説講座）

会場：黎明館3階講座室／参加無料、事前申込制（電子申請または往復はがき）
講座後に、展示会場で展示解説を行います。（要団体入館料）

「鯨島白鶴の人と書と」

・日時：令和8年1月17日（土）13:30～15:00（応募期間：12月11日（木）～12月20日（金））
・講師：学芸課長 切原 勇人

□展示解説

日時：令和7年12月27日（土）13:30～14:10
令和8年1月17日（土）15:10～15:50
令和8年2月15日（日）13:30～14:10

会場：黎明館3階企画展示室、日本画・書展示室 ※事前申込不要、要入館料

鹿児島県歴史・美術センター黎明館

〒892-0853 鹿児島市城山町 7-2

☎099-222-5100



Annual Passport

年間パスポート

一般 360 円
高校・大学生 540 円
小・中学生 320 円

発行から1年間の有効期間中、何度でも常設展示をご覧いただけます。



- ①鹿児島空港から鹿児島市行き空港バス「市役所前」下車 徒歩7分
- ②JR鹿児島駅から徒歩15分
- ③市電・バス「市役所前」または「水族館口」下車徒歩7分
- ④市内巡回観光バス「薩摩義士碑前」下車すぐ

駐車場
普通車 125台 バス 20台

